

ミニシアター「推し」自由に

取材
note遊軍担当
上田昌義

子どもの頃、親戚のおばさんが新聞の集金人をしていて、近鉄生駒駅から少し歩いたところにあった新聞販売店によく連れて行かれた。おばさんが仕事をしている間、向かいの公園で遊び、帰りは近くの店でアイスクリームを買ってもらったのを覚えている。

転勤で故郷に戻ると、新聞販売店だった建物は、「MYプライベートルシアター いこまめ座」の看板が掲げられ、小さな映画館になっていた。会社を退職した柴田達人さん夫婦が昨年4月、空き店舗になっていた建物を改装して開いた。

高画質のスクリーンにリクライ

ニングシートが10席。DVDを持ち込んで鑑賞したり、スマホにつないで動画を見たり。好きなバンドやアイドルの映像を見る「推し活」、飲食物を持ち込んでのパーティーなど、利用法は自由。男性アイドルの動画配信を楽しんだ女性グループは「一緒に大声で歌い

ながら見るのができて最高」と目を細めた。

柴田さんが好きな映画を上映する「ボチボッチ会」も不定期で開催。カフェではお手製のぜんざいも好評だ。「いろんな『推し』のやり方など教えられることが多い。もっと様々な使い方をしてほしい」と語る。

先だっけの休日、家族で映画でも見ようという話になった。すると、娘と妻は自分のスマホを取り出した。話題の映画をネットで選べ、それぞれで見るといふ。「これだと眠くなると部屋に持って行ける」のだそう。

映画の見方も変わったものだと退散したが、私はやっぱり、持っている「健さん」や「寅さん」のDVDも大画面で見たい。どうすればスマホ漬けの2人を「いこまめ座」に連れて行けるか、思案している。

月曜定休。問い合わせは、いこまめ座(090・3578・1503)へ。



「いこまめ座」の建物。昔遊んだ公園では子どもの声が響いていた(生駒市で)